



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

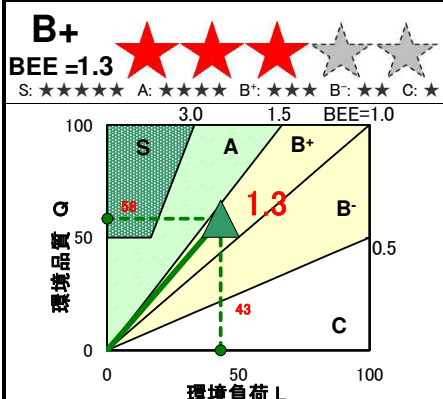
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)京町堀1丁目計画		
建設地	西区京町堀1丁目		
建築用途	ホテル		
建築主	エヌ・ティ・ティ都市開発(株)		
設計者	(株)銭高組		
敷地面積	1,232.91	m ²	
建築面積	976.42	m ²	
延床面積	10,586.36	m ²	
構造/階数	S造	/	地上13階
完了年(予定)	2023年1月		

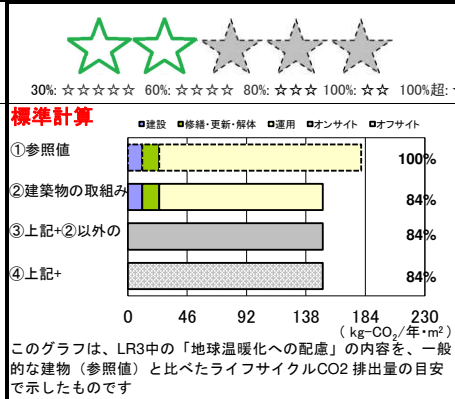
1-2 外観



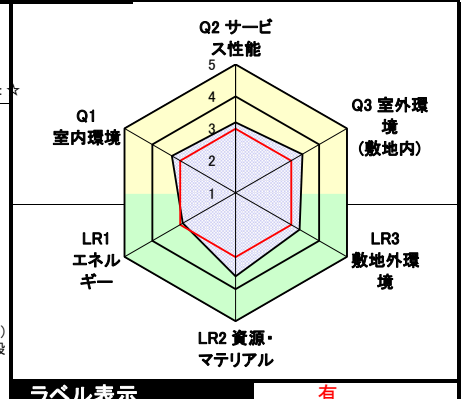
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



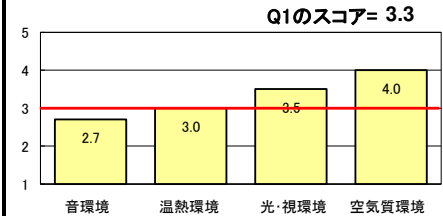
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



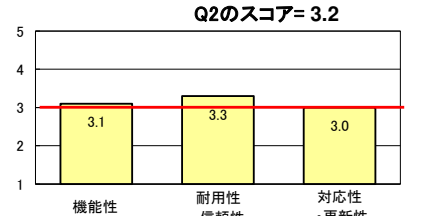
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

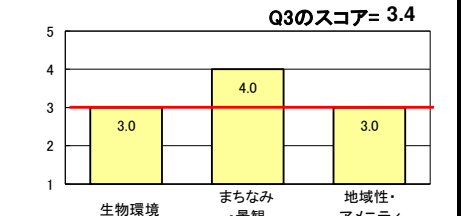
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

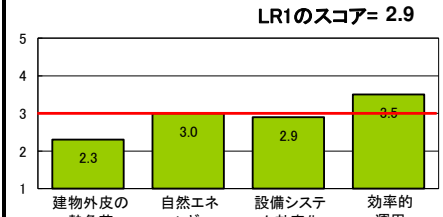


Q3 室外環境 (敷地内)

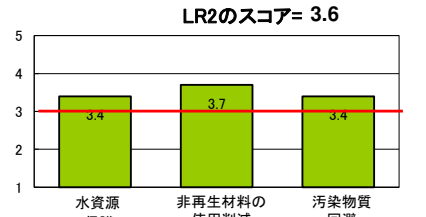


LR 環境負荷低減性

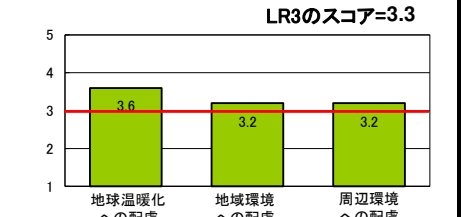
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

周辺環境及び施設利用者を配慮した計画としています。

その他

特になし

Q1 室内環境

共用部は冷暖フリーの機器を多く採用し、快適な温熱環境を維持できる計画としている。

Q2 サービス性能

電気設備の重要機器は浸水による機能停止が無いよう、地階には配置しない。
建物の維持管理に配慮した計画としている。

Q3 室外環境 (敷地内)

周辺の街並みや歴史を配慮した計画としている。

LR1 エネルギー

BEMS設備を計画し、消費エネルギーの傾向を把握できる。

LR2 資源・マテリアル

衛生器具は節水型を多く採用している。
躯体と仕上げ材が容易に分別可能な計画としている。

LR3 敷地外環境

燃焼機器(ガス給湯器)は窒素酸化物の排出量が低いものを使用している。
外構の照明計画は周辺環境に配慮した計画としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.6 CO ₂ 排出率 86%
配慮事項	高効率機器(LED照明器具、全熱交換器等)の採用

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 3.0 外構に緑地を確保。
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0 高温排熱の設備機器を外構に配置しない。
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0 地表面に十分な緑地を計画。
配慮事項	周辺環境を考慮した外構計画

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	2.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 2.3 BPI=1.0
配慮事項	Low-eガラスの採用

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 2.9 BEI=0.84
配慮事項	高効率機器(LED照明器具、全熱交換器等)の採用

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BPI][BEIm] 0.99
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.81	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.81